

インテグレートッドアンプ

KA-4050R

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

はじめに

ケンウッド商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも、大切に保存してください。

目次

ご注意:△のついた項目は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

△取扱上のご注意	3	録音のしかた	13
接続のしかた	4	通常録音のしかた	13
スピーカーの接続	5	カセットデッキ1からカセットデッキ2へのダビング	13
システムコントロールの接続	6	カセットデッキ2からカセットデッキ1へのダビング	13
各部の名称	7	故障と思われる症状ですが	14
リモコンの使いかた	8	アフターサービスについて	15
電池の入れかた	8	△定格	16
操作のしかた	8		
リモコン操作キー	9		
操作のしかた	10		
音量を調節する	10		
左右の音量を調節する	10		
音量を一時的に小さくする	10		
音質を調節する	10		
普通の再生	11		
ヘッドホンできく	11		
レコードの再生	12		

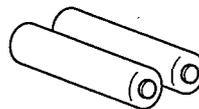
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用単3乾電池
R6 / SUM-3 (2個)

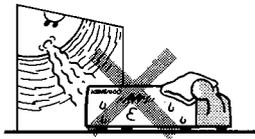


取扱上のご注意

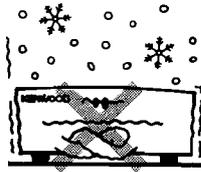
⚠ この頁は安全確保のために必ずお読みください

■設置上のご注意

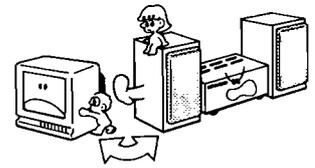
直射日光の当たる所、暖房器具など発熱物の近くは避けてください。



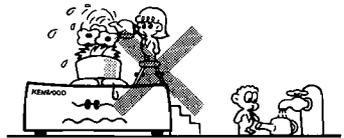
極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。



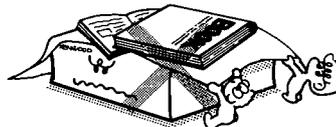
雑音が入る場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。



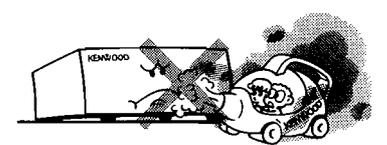
花びん、化粧品など液体の入ったものは、上に置かないでください。また、湿気の多いところは避けてください。



放熱をよくするため、本など、ものをセツトの上に置かないでください。また、壁から10cmくらい離して置いてください。

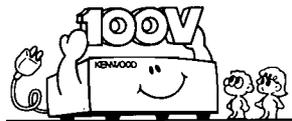


不安定な棚などは避け、ホコリ、震動の少ない水平な場所に設置してください。また、放熱孔をふさぐジュース、ソファ、ベッド等の上では使用しないでください。

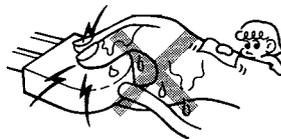


■安全上のご注意

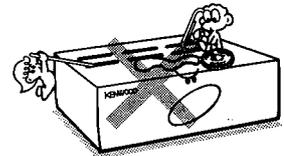
本機は、交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。



電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行なわないでください。感電するおそれがあります。



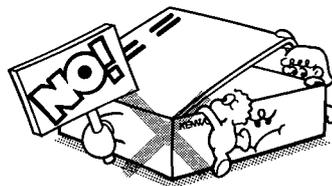
ケースの空気孔等にヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。



電源コードを強くひっぱったり、無理に折り曲げたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。

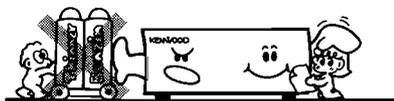


ケースなどをはずし、内部に触れることは避けてください。内部に手を触れると感電、故障の原因となることがあります。



■セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



■異常にお気づきのさいは

万一、煙が出ている、また変なおい気をするなどの異常がおきたときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へご連絡ください。

POWER OFF

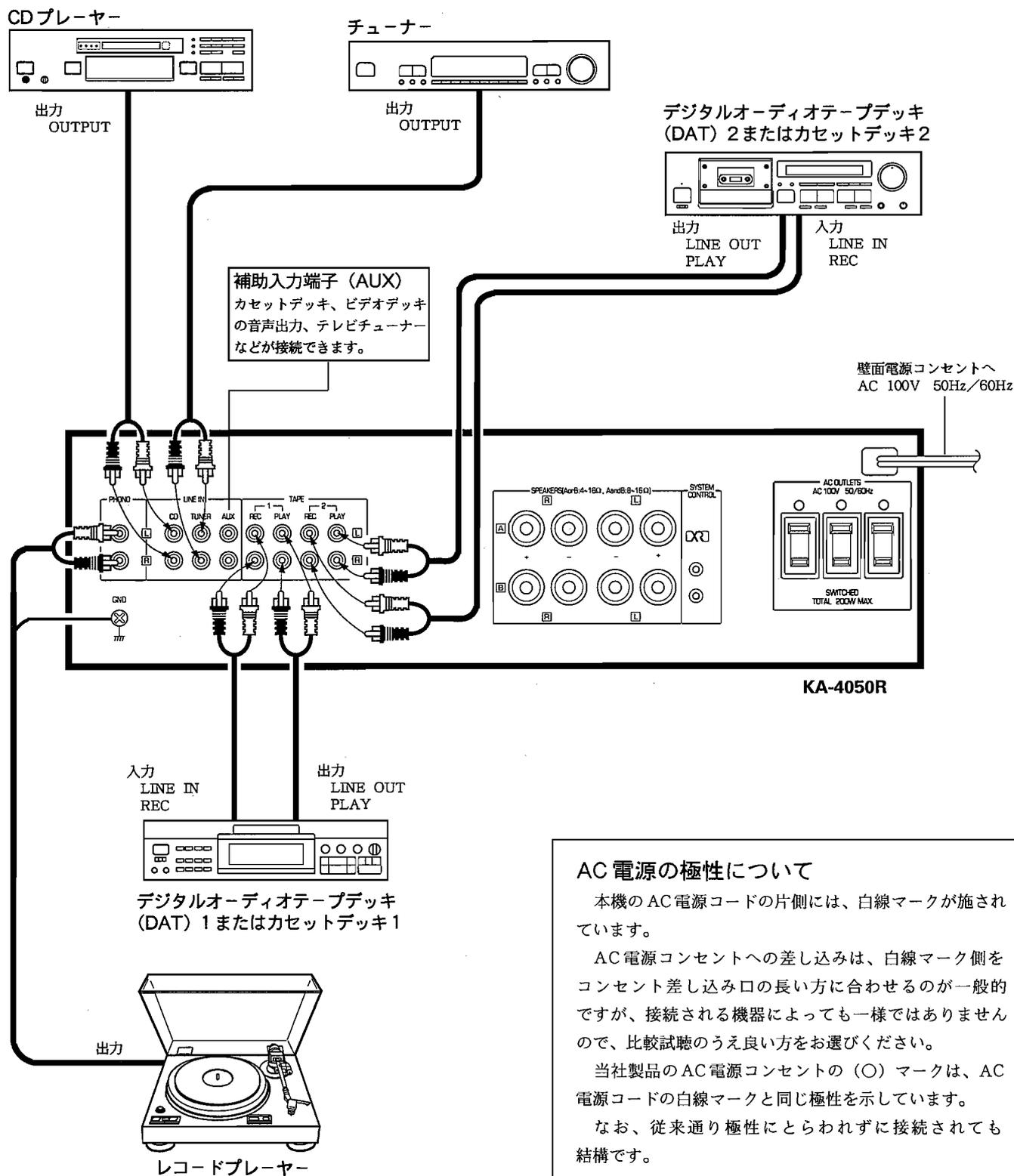


接続のしかた

下図のように接続してください。

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。



AC 電源の極性について

本機の AC 電源コードの片側には、白線マークが施されています。

AC 電源コンセントへの差し込みは、白線マーク側をコンセント差し込み口の長い方に合わせるのが一般的ですが、接続される機器によっても同様ではありませんので、比較試聴のうえ良い方をお選びください。

当社製品の AC 電源コンセントの (○) マークは、AC 電源コードの白線マークと同じ極性を示しています。

なお、従来通り極性にとらわれずに接続されても結構です。

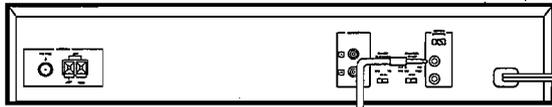
ご注意：

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに行くと、誤動作または破損の原因となります。
3. 背面の電源コンセントには、表示されている定格以上の機器を接続しないでください。

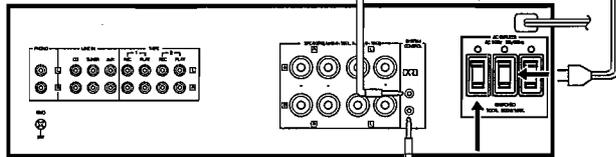
■ システムコントロールの接続のしかた

チューナー、カセットデッキまたはCDプレーヤーの [XS] マークのシステムコントロール端子と接続します。

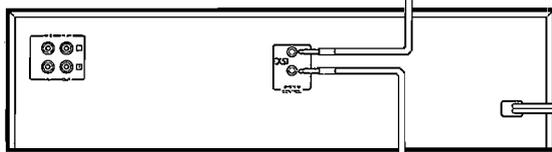
チューナー



アンプ

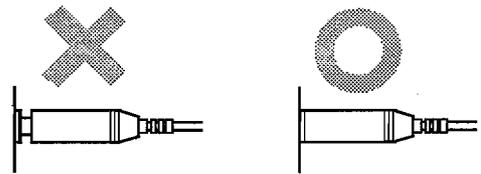


カセットデッキ



CDプレーヤーへ

KT-3050/Lおよびシステムコントロール接続をしない一般チューナーは、連動コンセント (SWITCHED) に接続するとアンプのPOWERキーのON/OFFに連動します。
KT-3050/L以外のシステムコントロール接続を含むチューナーは壁面コンセントに接続してください。



- システムコントロールプラグは、根本まで差し込みます。
- システムコントロールコードは本機には付属していません。
- システムコントロール端子と各機類との接続については、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

システムコントロール端子について

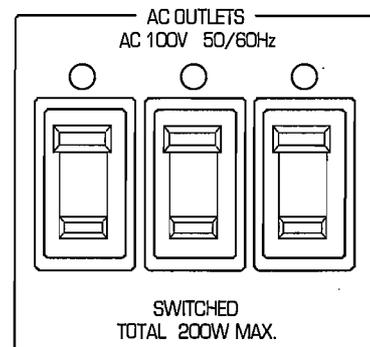
当社の製品をシステムでコントロールする端子です。お互いのSYSTEM CONTROL端子を、システムコントロールコードで接続することによって次の操作ができます。

リモートコントロール

本機と [XS] マークのSYSTEM CONTROL端子がついているチューナー、カセットデッキ、CDプレーヤーがシステムコントロールコードで接続されているとき、本機付属のリモコンの各キーでシステムリモコン操作が可能です。各機器の取扱説明書を参照してください。

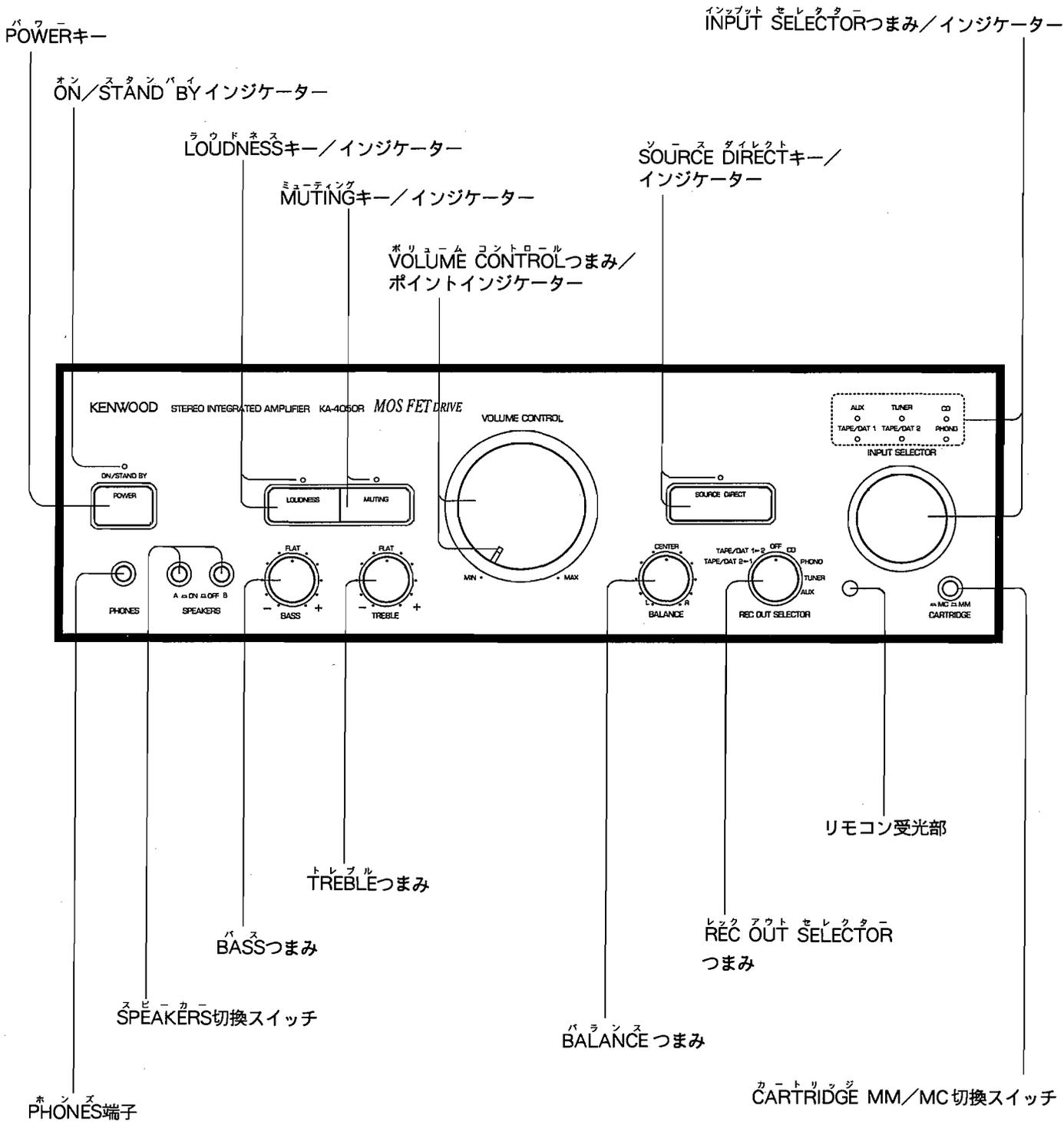
外部用電源コンセント

連動コンセント (SWITCHED) (最大容量 200W まで):



カセットデッキ、レコードプレーヤー、CDプレーヤーなどの電源プラグを差し込むことができます。それらの機器のPOWERスイッチをONにしておけば、本機のPOWERキーと連動してON-OFFしますので便利です。合計で200W以上の機器は絶対に接続しないでください。

各部の名称



POWERスイッチのSTAND-BYについて

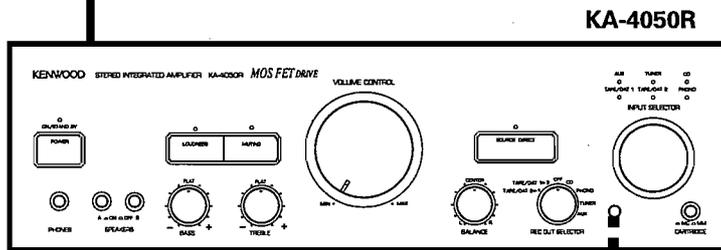
本機では電源プラグをコンセントに接続すると、電源OFF状態であってもスタンバイインジケータが点灯します。これは電源OFF時にも、メモリーの保護のため、微弱な通電を行なっているためです。これをスタンバイ状態といいます。スタンバイインジケータが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のON/OFFができます。電源をONにすると、スタンバイインジケータはさらに明るく点灯します。

リモコンの使いかた

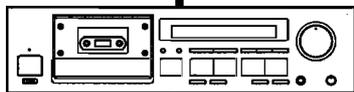
チューナー



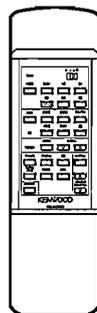
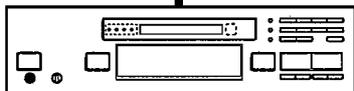
← システムコントロールコード



カセットデッキ



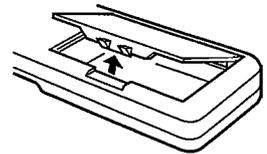
CDプレーヤー



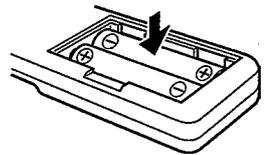
型名：RC-A0500
赤外線方式

■電池の入れかた

1 ふたを開ける

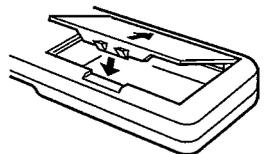


2 電池を入れる



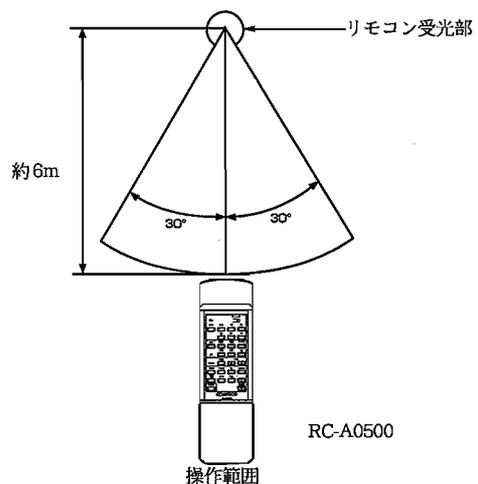
単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

3 ふたを閉める



■操作のしかた

- リモコンの各操作キーを押してから次の操作キーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



ご注意：

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

リモコン操作キー

システムコントロールコードで接続されているケンウッド製品の操作キー

カセットデッキ操作キー

カセット本体のキーと同じ動作をします。ただし、ふたつのキーの同時押し機能については、動作しません。

CDプレーヤー操作キー

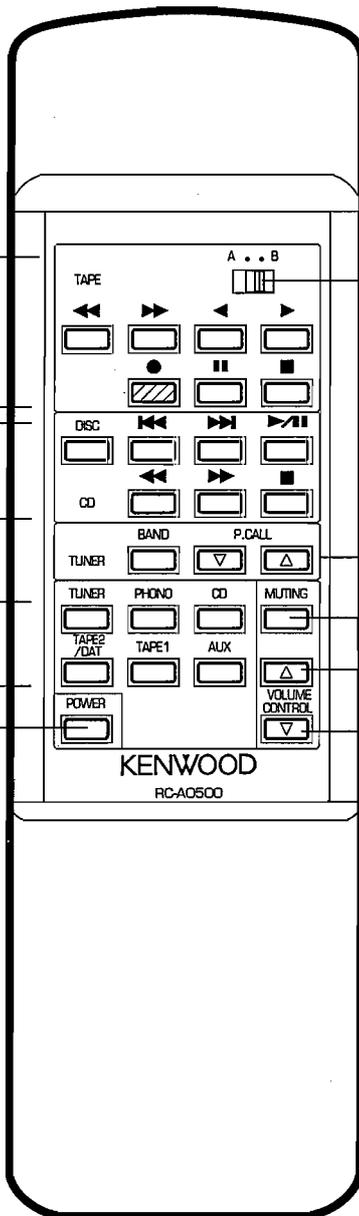
※DISCキーは、オートチェンジャーCDプレーヤー専用のキーです。

INPUT SELECTOR キー

POWER キー

KA-4050R 用操作キー

本体と同じ機能をもった操作キーです。



カセットデッキ A/B 切換スイッチ

ダブルデッキのデッキ A を操作するときは A/B 切換スイッチを A 側にします。ダブルデッキのデッキ B またはシングルデッキを操作するときは A/B 切換スイッチを B 側にします。

TUNER 操作キー

MUTING キー

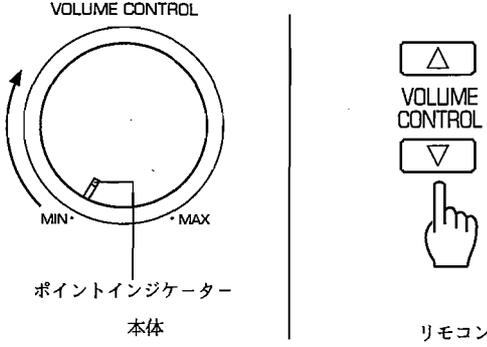
VOLUME UP (△)、DOWN (▽) キー

型名 : RC-A0500

赤外線方式

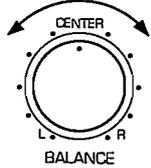
操作のしかた

■音量を調節する



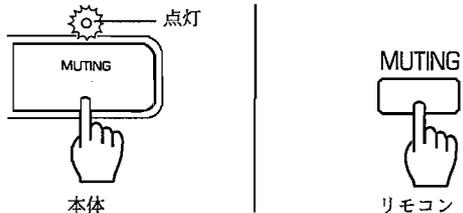
●リモコンで調節すると、キーを押している間、VOLUME CONTROLつまみのポイントインジケータが点滅しながら回転します。

■左右の音量を調節する



●右側の音が小さくなる ●左側の音が小さくなる

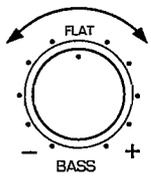
■音量を一時的に小さくする



●インジケータが点灯し、音が小さくなります。
●もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

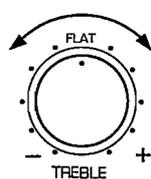
■音質を調節する

低音の調整



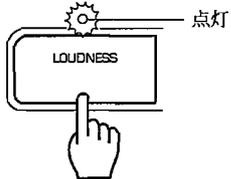
減 増

高音の調整



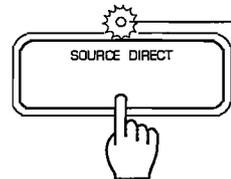
減 増

LOUDNESS



●小音量できく場合、このキーを押して聴感上の高音や低音の不足分を補います。

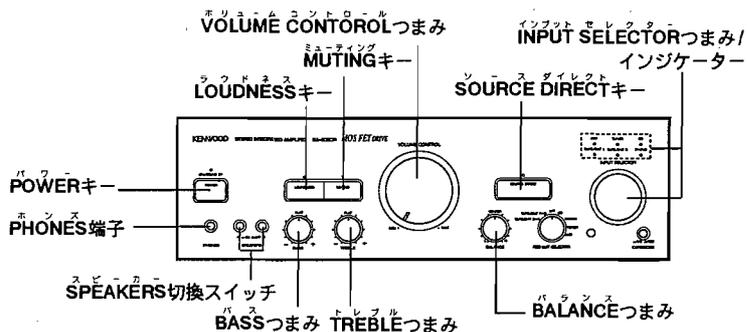
SOURCE DIRECT



●INPUT SELECTOR で選ばれた音楽ソースを高品位な音質で楽しむことができます。
●音声信号が、トーンコントロール、バランスコントロール、を通らないため、これらの機能は使用できません。

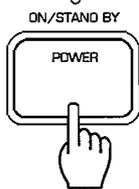
解除するには
それぞれのキーをもう一度押す

●各インジケータが消灯します。

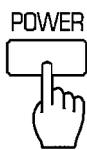


■普通の再生

1 電源を入れる



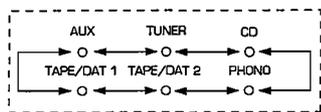
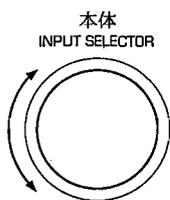
本体



リモコン

2 ききたい音楽ソースを選ぶ

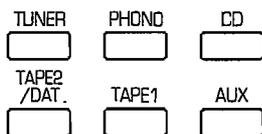
INPUT SELECTORつまみを軽く右または左に回す



- 入力ソースが図の順序で選ばれ、選ばれた入力のインジケータが点灯します。

ききたい音楽ソースのキーを押す

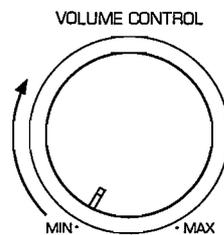
リモコン



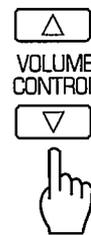
- 選ばれた入力のインジケータが点灯します。

3 選んだ音楽ソースを再生する

4 音量を調節する

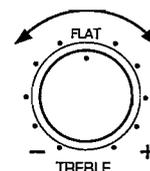
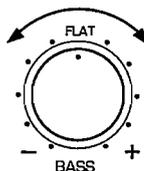


本体



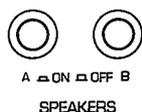
リモコン

5 音質を調節する



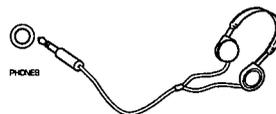
■ヘッドホンで大きく

SPEAKERS 切換スイッチ



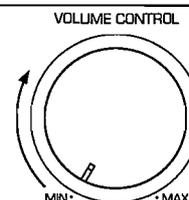
- A OFF, B OFF : ヘッドホンのみ使用のとき、この位置にします。スピーカーから音はでません。
- A ON, B OFF : スピーカーA端子に接続したスピーカーで大きくとき、この位置にします。
- A OFF, B ON : スピーカーB端子に接続したスピーカーで大きくとき、この位置にします。
- A ON, B ON : AおよびBスピーカー端子に接続したスピーカーを同時に大きくとき、この位置にします。

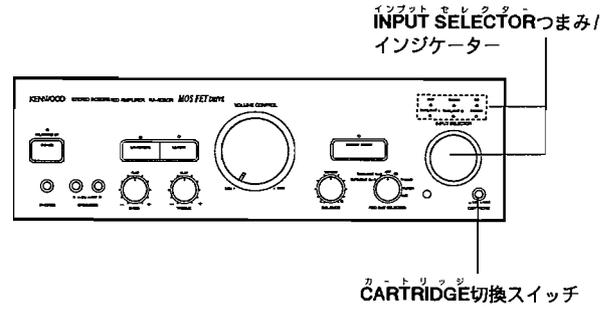
1 ヘッドホンのプラグを PHONES 端子に差し込む



2 SPEAKERS 切換スイッチを OFF にする

3 音量を調節する

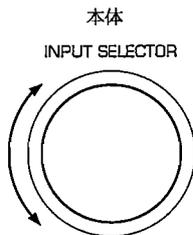




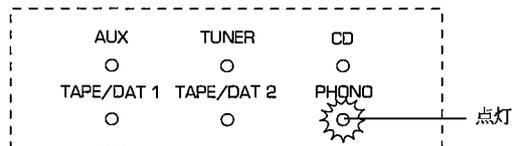
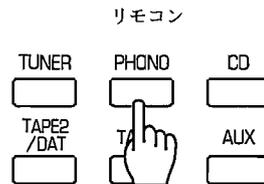
■レコードの再生

1 INPUT SELECTOR を PHONO にする

INPUT SELECTORつまみを軽く左または右に回し、PHONO インジケータを点灯させる



PHONO キーを押す



2 使用するカートリッジに合わせて、CARTRIDGE 切換スイッチを選ぶ



- 使用するカートリッジがMC型のときは、このスイッチを押してください。

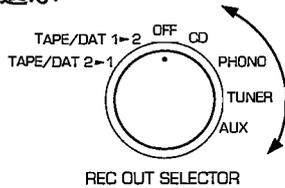
3 レコードプレーヤーを操作する

録音のしかた

REC OUT SELECTORつまみで選んだ音を録音しながら、INPUT SELECTORつまみで選んだソースをきくことができます。REC OUT SELECTORつまみで選ばれた機器の出力信号は、TAPE / DAT 1, TAPE / DAT 2のREC端子に接続されたカセットデッキで録音できます。

■通常録音のしかた

1 REC OUT SELECTORつまみで録音したいソースを選ぶ

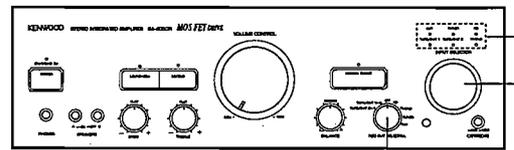


- OFFの位置ではなにも録音されません。

2 カセットデッキを録音状態にする

- インプットセレクターを録音中のTAPEに合わせると、録音中の音をモニターすることができます。
- TAPE 1, TAPE 2 同時に録音が可能です。

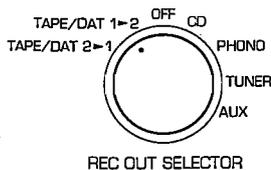
INPUT SELECTORつまみ/インジケータ



REC OUT SELECTORつまみ

■カセットデッキ1からカセットデッキ2へのダビング

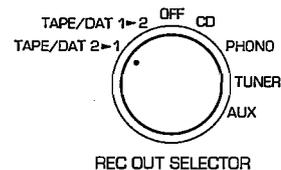
1 REC OUT SELECTORつまみをTAPE / DAT 1▶2にする



2 カセットデッキ1を再生、カセットデッキ2を録音状態にする

■カセットデッキ2からカセットデッキ1へのダビング

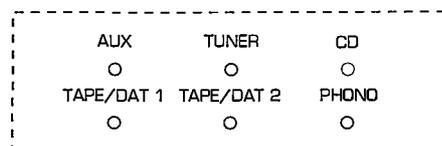
1 REC OUT SELECTORつまみをTAPE / DAT 2▶1にする



2 カセットデッキ2を再生、カセットデッキ1を録音状態にする

録音またはダビングしながら他の音楽ソースをきくには

INPUT SELECTORつまみを回し、ききたい入力ソースのインジケータを点灯させる



インジケータが点灯している入力ソースが選ばれます。

故障と思われる症状ですが.....

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

症 状	原 因	処 置
音が出ない。(音が小さい)	<ul style="list-style-type: none"> ● SPEAKERS 切換スイッチが OFF になっている。 ● スピーカーコードが、はずれている。 ● 音量を最小にしている。 ● アンプの MUTING が ON で、MUTING インジケータが点灯している。 ● オーディオコードの接続が、はずれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● A、B または A + B の位置にする。 ● “接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ● 適当な音量にする。 ● MUTING を OFF にする。 ● オーディオコードの接続を確認する。
スピーカーの片側から音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーコードが、はずれている。 ● BALANCE つまみが片側いっぱいに絞られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● “接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ● 左右のバランスを調節する。
入力切換キーを PHONO にすると、ブーンという音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● プレーヤーのオーディオコードが PHONO 端子にしっかりと差し込まれていない。 ● プレーヤーのアース線が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオコードを PHONO 端子に完全に差し込む。 ● アース線を背面の GND 端子に接続する。
TUNER と PHONO で音量差がある。	<ul style="list-style-type: none"> ● チューナーの出力とレコードプレーヤーの出力が異なっている。 ● MM / MC の選択を間違えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 適当な音量にする。 ● CARTRIDGE 切換スイッチで正しいセッティングにする。

リモコン部

症 状	原 因	処 置
リモコンで操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ● システムコントロールコードが正しく接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池に入れかえる。 ● 操作範囲内で操作する。 ● “接続のしかた”をみて正しく接続し直す。

スピーカープロテクション回路について

誤ってスピーカーコードがショートしたまま本機の POWER スイッチを入れますと、スピーカープロテクション回路が働きます。ON/STAND BY インジケータが点滅して音がでない場合は、一度 POWER スイッチを切りスピーカーコードのショートを取り除き、再度 POWER スイッチを入れてください。通常の使用状態に戻ります。

ご注意:

1. 本機はマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いてから、あらためてご使用ください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書—この商品の保証書は別途添付しております。
必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
2. 保証期間—お買い上げの日より**1年間**です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買い上げの販売店またはケンウッドの営業所が無料修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後**8年間**です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。

サービス依頼について

本機の修理を依頼される時は、本体のままお渡しにならないで、必ず何かに包装してお渡してください。本体のまま修理にだされますと、途中の事故等で外観に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

※包装材はアフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

定格

定格出力 60W + 60W
(20Hz~ 20kHz, 0.05% 8 Ω)

ダイナミックパワー 8 Ω 90W + 90W
4 Ω 120W + 120W

ダンピングファクター 200 (50Hz)

全高調波ひずみ率 0.06%
(20Hz~ 20kHz, 60W, 8 Ω)

..... 0.02%
(1kHz, 60W, 8 Ω)

混変調ひずみ率 (70Hz:7kHz=4:1) 0.02% (60W, 8 Ω)

周波数特性

CD, TUNER, AUX, TAPE 1, 2

..... 5Hz~ 100kHz, + 0dB, - 3dB

イコライザー偏差 20Hz~ 20kHz, + 0.3dB, - 0.3dB

最大許容入力

PHONO (MM) 120mV 0.05% (1kHz)

PHONO (MC) 10mV 0.05% (1kHz)

SN比

PHONO (MM) 79dB (EIAJ) / 87dB (IHF A)

PHONO (MC) 74dB (EIAJ) / 67dB (IHF A)

CD, TUNER, AUX, TAPE 1, 2

..... 80dB (EIAJ) / 104dB (IHF A)

入力端子 (感度 / インピーダンス)

PHONO (MM) 2.5mV / 47k Ω

PHONO (MC) 0.2mV / 100 Ω

CD, TUNER, AUX, TAPE 1, 2 200mV / 47k Ω

トーンコントロール特性

BASS ± 10dB (100Hz)

TREBLE ± 10dB (10kHz)

ラウドネスコントロール特性

- 30dB + 6dB (100Hz)

+3dB (10kHz)

出力端子 (レベル / インピーダンス)

TAPE REC 200mV / 1k Ω

電源部・その他

電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz / 60Hz

定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 166W

最大外形寸法 幅 440mm

高さ 137mm

奥行 345mm

重量 (正味) 8.5kg

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い、予告なく変更することがあります。

アフターサービスのお問い合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問い合わせは、
お客様相談室をご利用ください。
電話 (03) 3486-5515

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

東京都渋谷区渋谷1-2-5 (アライブ美竹) 〒150
電話 (03) 3486-5511